

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式					
M314M107	組織学 (Histology)					コース共通専門分野	対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態				
必修	1	1	医学部先進医療科学科	後期	月4	日本語	英語	複数(共同)、オムニバス				
担当教員	氏名 濱田文彦・千葉政一・三浦真弘・二宮 遼・久保修一 E-mail hamadaf1@oita-u.ac.jp 内線 5620											
授業の概要	ミクロ的視点(組織・細胞レベル)から、血液・造血器・リンパ系、神経系、運動器系、循環器(心血管)系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、視覚器系、平衡聴覚器系の正常構造と機能を理解する。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7
目標1	人体を構成する4種の組織(上皮・結合・筋・神経)の構造と機能を説明できる。											
目標2	各器官系の正常構造と機能を説明できる。											
目標3												
目標4												
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
各DPへの関連度(計10)						8	2					
授業の内容												
1	イントロダクション・上皮組織・結合組織											
2	血球・脈管・筋組織											
3	骨・軟骨組織・神経組織											
4	内分泌系・泌尿器系(1)											
5	泌尿器系(2)・生殖器系											
6	消化器系											
7	呼吸器系・視覚器											
8	リンパ系・平衡聴覚器											
9	中枢神経系											
10	予備1											
11	予備2											
12	予備3											
13	予備4											
14	予備5											
15	予備6											
ラーニング	A:知識の定着・確認	小テストを行う場合がある					工 夫 そ の 他 の	Moodle 上に公開する講義資料を利用				
	B:意見の表現・交換											
	C:応用志向											
	D:知識の活用・創造											
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	講義で使用する資料(講義前に Moodle 上で公開予定)を中心に予習する(1h)。										
	事後学修	講義内容を復習する(2h)。										
	想定時間合計	33										
教科書	Mescher 著 ジュンケイラ組織学 第6版(原著第16版)(丸善出版)2024, ISBN 978-4-621-30885-1											
参考書	阿部・牛木著 組織学 改訂20版(南山堂)2019, ISBN 978-4-525-11080-2 牛木著 入門組織学 改訂第2版(南江堂)2013, ISBN 978-4-524-21617-8 O'Dowd 著 ウォーター図説で学ぶ機能組織学 原著第7版(エルゼビア・ジャパン)2025, ISBN 978-4866550039 駒崎著 バーチャルスライド組織学 改訂版(羊土社)2025, ISBN 978-4758121743											

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
		筆記試験	100%									
	原則として、筆記試験 60% 以上の得点を合格の要件とする。											
注意事項	講義・実習およびその資料（特に人体および人体標本とその写真・ヒト以外の動物および動物標本とその写真）の撮影・録画・録音、インターネットへの掲載・投稿をしないこと。講座・学務課から送られるメールのチェックを怠らないこと。											
備考												
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	濱田・千葉（医師）											
実務経験を いかした 教育内容	組織学において学ぶ内容の臨床的意義を解説し、学生の学習意欲を高める。											